



各 位

2022年12月27日

会社名 東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 落合 久男
(コード番号 7235 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 本部長 矢野 和彦
(TEL. 0466-87-1231)

**当社製品に起因する車両のリコールに伴う特別損失の計上
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2023年3月期において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。また、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2022年12月2日に「当社製品に起因する車両のリコールについて」にて開示しておりますとおり、当社製品を搭載した車両が国土交通省の定めるリコールの対象となりました。これに伴う補償費用を含む当社負担額約9億円を特別損失に計上する見込みです。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 29,000	百万円 300	百万円 500	百万円 300	円 銭 20.85
今回発表予想 (B)	30,000	300	500	△800	△55.60
増減額 (B-A)	1,000	0	0	△1,100	
増減率 (%)	3.4%	0.0%	0.0%	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	26,988	△92	95	△801	△55.68

(2) 業績予想修正の理由

連結売上高は、日本・アジア地域の売上高が予測を上回ったこと及び為替レートが想定よりも円安で推移したことにより増加しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1の特別損失を計上すること及び連結子会社の業績が上振れたことによる税金費用の増加のため、上記のとおり業績予想を修正いたします。なお、期末配当予想につきましては、一時的な費用の発生に伴う減益のため、修正はありません。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上